

1匹超マンビカーに歓声



1匹以上のマンビカーの姿に歓声を上げる児童＝10日、北中城村立北中城小学校

北中城共同調理場

【北中城】子どもの日にちなみ、こいのぼりに見立てた大きな魚を丸ごと食べてもらおうと、北中城村立北中城小学校(伊敷ひろみ校長)で10日、給食にマンビカー(シイラの姿揚げ)が振る舞われた。給食前には同校の1年生約120人が北中城村立学校給食共同調理場でマンビカーが調理される様子を見学。1匹を超えるマンビカーに歓声を上げた。

(当山幸都)

給食に姿揚げ丸ごとばかり

マンビカー給食は、同 中学校の給食でも提供され、調理場が食育や地産地消に力を入れようと続ける。北中城小1年4組で取り組みで、今年14年は、児童が身と骨を上手

目。9日には同村の島袋に分けながら「おいし小学校、11日には北中城い」「もっと食べられ

る「なごマンビカーを味わっていた。

同調理場の楚南兼二所長は「魚の絵を描かせる」と、給食に出てくる切り身を描く子もいた」と取り組みを始めたきつかけを振り返る。「食育はいかに心に残せるかだ。マンビカーのインパクトを通して、給食のことを小中9年間だけでなく一生忘れないものにしてほしい」と語った。

(2012年5月18日 28面)

☆地産地消とはどういう意味かな？ 調べてみよう。

☆マンビカーの姿揚げを出すきっかけとなった出来事は何か？

年 組 名前